

第一回 蘭台春曉

第一回総会開催  
さる昭和六十年十一月三日  
(月)建学祭開催中の湘南校  
舎六号館において第二回総会  
が開催され(出席者十七名)、  
左記の件が審議の上、出席者  
全員の賛成をもつて承認され  
た。

審議内容および承認内容は次のとおりである。

二、会務報告および会計報告  
以下全員再選なれど吉沢好良氏を新たに幹事として選出承認した)。

(昭和五十七年四月一日  
昭和五十九年三月三十  
一日承認・詳細は次号に

三、  
東海大学同窓会代議員の  
件（北澤敏行幹事を代議  
掲載予定）。

元号も改まり、新しい時代を迎えた。平成丸日本は世界の潮流に乗り、その躍進

の国の有力国として、その責務と義務を認識しつつ船出致しました。このような記念すべき日

に新しい主任教授が誕生されることは、何か因縁めいた印象が強く感ぜられます。卒業生一

は新主任幹事と学科の新幹事と  
対し心より祝福申し上げると共に、  
さらに、一層、生産機械による

学科が躍進することを机念するものであります。

築き、二代目の松原 潤教授は、その時代に応じた内容のカリキュラム編成に着手しました。

さて、現在の日本は内外とも沢山の難題を抱えております。内においては、新エネルギーの開発

約二千名に達するまでに至り、卒業生の皆様は、各界、各層で各人の担うべき役割をはたされ

と益々の活躍をお祈りします。

生友会会長 小松 武万

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie. He is looking slightly to his left.

松原 清  
前主任教授

A black and white portrait of a man with dark hair, wearing a suit jacket, white shirt, and tie. He is looking slightly to his left.

青木克巳  
新主任教授

光行系  
海大学生友会  
258-12  
西川清介  
金日 1117番地  
鹿児島工学校  
事務室内

第3号  
生産機械  
工学科  
特集号

主任教授就任

主任教授 青木克巳

械の二専攻、また昭和四十年に機械専攻に分かれ、今日のよくな特色ある学科に発展してまいりました。現在、二十名余りの教職員が一團となり、学生諸君と共に教育、研究の向上に努めております。

機工学科の学生は今日のよう  
に限りなく発展し続ける技術  
革進の中で、いつの時代にも  
対応出来る様な体系化された  
カリキュラムの中で、工学基  
礎を習得出来るようになつて  
おります。特に、専門教育科

科)で構成され、お互いの授業が流れが拡大され、系内の他学科との専門科目(八単位迄)を履修単位として認められることになりました。例えば生産機械工学科の学生は、航空宇宙学科の宇宙推進工学や、経営工学科の品質管理、動力機械工学科の自動車工学等幅広く受講できます。当生産機械工学科では高度化・多様化する産業界の発展の基盤となる生産技術のシステムを創造開発活用できる研究者及び技術者を養成することを目的としております。その為には、自分の専門領域の修得だけに留まることなく、幅広い専門分野に興味を持ち、知識を吸収することが必要であります。

このような改革の中で、生産機

一  
の学習では指導教員にマンツ  
マンで指導をうける為、学  
業成績の良否にかかわらず個  
性がいかんなく発揮でき、そ  
のテーマに興味をもち熱意と  
努力を示した学生のパワーは  
目を見張るばかりの力となり  
立派な成果が生まれるもので  
す。このような学習は一人前の  
エンジニアになるための基  
本的な訓練であります。当学  
科教職員は時代と共に限りな  
く前進する技術に対応できる  
技術者を育成する為、熱意を  
もつて教育していくつもりで  
あります。

最後に卒業生の皆々様には、  
御身体に充分気をつけ、益々

御活躍、御発展下さいますよ  
うお祈り致しますと共に、母  
校生産機械工学科の発展の為、  
より一層の御支援、御鞭撻を  
賜りますよう御願い申し上げ  
ます。

青木克巳教授の主略歴

昭和十七年 生

東海大学大学院 工学研究科 機械工学専攻

修士課程修了

昭和四十四年 東海大学工学部助手 講師  
昭和四十八年 講師  
昭和五十五年 助教授  
昭和六十二年 工学博士(東海大学)  
昭和六十三年 教授

湖南校舎 主任教授 青木克巳(流体工学)

松原清(機械工学)

西本康(加工学)

木村誠(制御工学)

大庭洋(機械製作)

横井信(機械工学)

中山泰喜(流体工学)

澤村洋(機械製作)

橋本巨(機械工学)

森下中衛(加工学)

北澤敏行(材料力学)

太田猛昭(制御工学)

香川勝一(機械工学)

笹沼節夫(機械工学)

福岡校舎 德永克美(機械要素)

秋原彰信(冷凍空調・溶接加工・機械製作)

非常勤講師 武井清見(管理工学・流体機械・機械製作)

非常勤講師 須田孝(機械製作・卒業研究等)

非常勤講師 武岡一成(プラント工学)

非常勤講師 冲真(電子計算機・卒業研究等)

技術職員 小泉淳二

実習補助員 小宮正幸

事務職員 堀崎紀子

授業科目名	コース必選別	単位数	学年・学期・時間数(毎週)			
			1年次		2年次	
			前	後	前	後
機械応用工学概論	O	2	2			
機構学	O	2	2			
応用機構学	O	2	2	2		
工業力学	O	2	2			
材料力学Ⅰ	O	2	2			
材料力学Ⅱ	O	2	2	2		
因学演習	O	1	2			
基礎製図	O	1	3			
機械基礎製図	O	1	3			
コンピュータ実習	O	1	2			
工業熱力学Ⅰ	O	2		2		
工業熱力学Ⅱ	O	2		2		
流体力学Ⅰ	O	2		2		
流体力学Ⅱ	O	2		2		
材料力学Ⅲ	O	2		2		
材料力学Ⅳ	X	2		2		
機械力学	O	2		2		
機械材料Ⅰ	O	2		2		
機械材料Ⅱ	O	2		2		
生産加工Ⅰ	O	2		2		
生産加工Ⅱ	O	2		2		
機械要素設計Ⅰ	O	2		2		
機械要素設計Ⅱ	O	2		2		
機械要素製図Ⅰ	O	1		3		
機械要素製図Ⅱ	O	1		3		
機械工学実験実習Ⅰ	O	1		3		
機械工学実験実習Ⅱ	O	1		3		
プログラミング実習Ⅰ	O	1		2		
電子工学	O	2		2		
工業数学	O	2		2		
機械工学実験実習Ⅲ	O	1			3	
機械工学実験実習Ⅳ	O	1			3	
工業英語Ⅰ	O	1			2	
工業英語Ⅱ	O	1			2	
機械設計製図Ⅰ	O O	3			5	
機械設計製図Ⅱ	X O	3			5	
電気工学	O X	2			2	
メカトロニクス	O X	2			2	
プログラミング実習Ⅱ	O X	1			2	
工業デザイン	X O	2			2	
流体機械	X	2			2	
熱伝達	X	2			2	
システム制御Ⅰ	X	2			2	
システム制御Ⅱ	X	2			2	
工業計測	X	2			2	
電子回路	X	2			2	
数値計算	X	2			2	
工場管理	X	2			2	
材料力学Ⅲ	X	2			2	
冷凍空調	X	2			2	
トライボロジー	X	2			2	
ロボティクス	X	2			2	
カ外リ・オーティクション	X	2			2	
振動学	X	2			2	
機能材料	X	2			2	
卒業研究	O	4				
ゼミナール	O	2			2	2
文献研究	O	1				2
生産機械工学概論	X	2			2	

授業科目名	コース必選別	単位数	学年・学期・時間数(毎週)			
			1年次		2年次	
			前	後	前	後
動力機械設計論	X	2			2	
自動車工学Ⅰ	X	2			2	
精密機械Ⅰ	X	2			2	
精密加工工学Ⅰ	X	2			2	
航空宇宙航法装置	X	2			2	
宇宙推進工学Ⅰ	X	2			2	
太陽系惑星科学	X	2			2	
天文学	X	2			2	
生産管理工学Ⅰ	X	2			2	
品質管理工学Ⅰ	X	2			2	
原価工学Ⅰ	X	2			2	
職業指導	*	4			2	2

備考						
動力機械開講科目						
動力機械開講科目						
精密機械開講科目						
精密機械開講科目						
航空宇宙開講科目						
航空宇宙開講科目						
航空宇宙開講科目						
経営開講科目						
経営開講科目						
経営開講科目						

機械応用工学系発足	
新カリキュラム実施	

員による講義が交代で行われてい  
る。また、三、四年次において開  
講される他学科の開講科目の選択  
を認めており、この単位の内八单  
位まで卒業単位として認められて  
いる。

機械応用工学系の発足に伴い、  
工学科、動力機械工学科、精密機械  
工学科等五学科を一グループとし  
た機械応用工学系が発足した。こ  
の制度の特徴は、それぞれの学科  
は独立しているが、各々の科で二  
コース制をひき、共通の専門科目  
(機械応用工学概論、因学演習、電  
子工学等)を持ち、特に機械応用  
工学概論については、他学科の教  
科を中心とした「マニファクチャ  
リングコース」の二コース制へ移行  
したことである。

機械応用工学系が交代で行われてい  
る。また、三、四年次において開  
講される他学科の開講科目の選択  
を認めており、この単位の内八单  
位まで卒業単位として認められて  
いる。

機械応用工学系の発足に伴い、  
工学科、動力機械工学科、精密機械  
工学科等五学科を一グループとし  
た機械応用工学系が発足した。こ  
の制度の特徴は、それぞれの学科  
は独立しているが、各々の科で二  
コース制をひき、共通の専門科目  
(機械応用工学概論、因学演習、電  
子工学等)を持ち、特に機械応用  
工学概論については、他学科の教  
科を中心とした「マニファクチャ  
リングコース」の二コース制へ移行  
したことである。

機械応用工学系の発足に伴い、  
工学科、動力機械工学科、精密機械  
工学科等五学科を一グループとし  
た機械応用工学系が発足した。こ  
の制度の特徴は、それぞれの学科  
は独立しているが、各々の科で二  
コース制をひき、共通の専門科目  
(機械応用工学概論、因学演習、電  
子工学等)を持ち、特に機械応用  
工学概論については、他学科の教  
科を中心とした「マニファクチャ  
リングコース」の二コース制へ移行  
したことである。

機械応用工学系の発足に伴い、  
工学科、動力機械工学科、精密機械  
工学科等五学科を一グループとし  
た機械応用工学系が発足した。こ  
の制度の特徴は、それぞれの学科  
は独立しているが、各々の科で二  
コース制をひき、共通の専門科目  
(機械応用工学概論、因学演習、電  
子工学等)を持ち、特に機械応用  
工学概論については、他学科の教  
科を中心とした「マニファクチャ  
リングコース」の二コース制へ移行  
したことである。

機械応用工学系の発足に伴い、  
工学科、動力機械工学科、精密機械  
工学科等五学科を一グループとし  
た機械応用工学系が発足した。こ  
の制度の特徴は、それぞれの学科  
は独立しているが、各々の科で二  
コース制をひき、共通の専門科目  
(機械応用工学概論、因学演習、電  
子工学等)を持ち、特に機械応用  
工学概論については、他学科の教  
科を中心とした「マニファクチャ  
リングコース」の二コース制へ移行  
したことである。



精密機械器具製造	厚木自動車部品
アマノ 武藤工業	アイシン精機
オリエンパス光学	
愛知時計電機	
シチズン時計	
金門製作所	
東芝 京セラ	電気機械器具製造等

### 最近3ヶ年の競職状況

年度	上場会社	その他の					計	
		大	中	小	公務員	自営他		
1987	72	42	39	12	2	8	4	179
1988	62	51	50	7	-	10	7	187
1989	90	26	25	4	2	10	4	164

松下電器産業	日立製作所
アルブス電氣	スタンレー電氣
カシオ計算機	N E C 三洋電機
立石電氣	赤井電氣
富士通ゼネラル	富士電気化學
立川ブラインド	ニコフタチエス
日本たばこ産業	その他製造業
全日空	・通信・その他
N T T	J R 東海
東京電力	メイテック
東芝	エンジニアリング
日立コンピュータ	エンジニアリング

なお、資料は生産機械工学科事務室（小泉氏）より提供されたものとまとめたものである。

一水会だより

先生方からの一言

公務員・教員  
總理府 市役所

のにして頂きたいとおもいます。  
（教授 中山泰喜）

富家知道 教授  
『コンピュータ

『広告の募集』  
広告を広く募  
る希望の節は喜

パルプ・紙・紙加工  
十条製紙  
トウモク

最近では、昭和六十二年十一月一日に霞が関ビル三十三階の校友会館で開きましたが約七十名の方が集まり、大学の現状、先輩の人達の活躍の状況が報告され、また情報交換も活発に行われました。また席上建学祭に工学博士の学位を取得された青木克巳教授の報告等もあり、先輩とのつながりもでき、大変有意義な会合であった。

今年も七月十五日に霞が関ビル三十三階校友会館で開かれ、多数の方が前回同様集まり盛大に行われた。

なお、会員の皆様からのご希望もありますので、毎年七月に定期的に一水会を開くことにしたいと思つております。会員の皆様奮つてご参加頂きこの会合をますます盛んなも

実にうれしい話です。東海大卒業生は人一倍努力されていると存じます。そこで、卒業生は時々先生へ来られ、在学中も努力せよと学生達に言つて下されば幸いです。

▲規約改正に向けて▽  
生友会の規約も会の運営上種々の問題点が発生しております。改正の必要が生じております。今後の会の運営をスムーズにするため、事務局として改正(案)を作成して総会お計りしたいと思います。ご協力をお願い申し上げます。

▲新聞へ投稿を▽

前号でお願いしましたが、会員の皆様のご意見、会員の通信、会員相互の意見交換の発表等の場として、会員のひろばのようなもの考えておりますので皆様の稿をお願いします。

も、財政的にも余裕がなく、  
発行が大変おくれたことをお詫び申し上げます。本号より  
昭和から平成へ、また、学科  
も新主任教授の誕生と、新し  
い時代を迎えるに当たり、名称  
も「東海大学生友会新聞」と  
して新たに出発することと致  
しました。今後もできるだけ  
定期的に発行出来るよう努力  
いたしますので会員の皆様の  
ご協力ご支援をよろしくお願  
い申し上げます。

また、「会員のひろば」の  
ようなものを取入れ会員の皆  
様の親睦の場としていたいと思  
いますので投稿をお願いしま  
す。内容は自由とします。また、  
会報や会の運営等にご意見・  
ご希望等も事務局へお願いし  
ます。「事務局一同」

ゴム・事業・土石	横浜ゴム	富士通ゼネラル
相模ゴム	東京製鐵	富士電気化学
日本セメント	東海鋼業	その他の製造業
鉄鋼業	古河鉄業	日本たばこ産業
日本製鋼所	非鉄金属製造業	立川ブラインド
旭ダイヤモンド	トヨサンド	ニコフ タチエス
機械製造業	日立コンピュータ	全日本空輸
アマダ ミネベア	エンジニアリング	NTT JR 東海
加藤製作所	エンジニアリング	東京電力
S M C サンデン	東芝	メイテック

なお、資料は生産機械工学科事務室（小泉氏）より提供されたものを持ちました。六十三年度より同部信一郎氏が就任されました。

香川勝一 講師  
『健康に留意して  
一層の努力を

おりますのでご協力をお願い  
申し上げます。

▲規約改正に向けて▽  
生友会の規約も会の運営、種々の問題点が発生しております。改正の必要が生じております。今後の会の運営をスムーズにするため、事務局として改正(案)を作成して総会お計りしたいと思います。ご協力をお願い申し上げます。

△新聞へ投稿を▽  
前号でお願いしましたが、会員の皆様のご意見、会員の連絡、会員相互の意見交換の発表等の場として、へきのひろばの)のようなもの考えておりますので皆様の稿をお願いします。

も、財政的にも余裕がなく、  
発行が大変おくれたことをお詫び申し上げます。本号より  
昭和から平成へ、また、学科  
も新主任教授の誕生と、新し  
い時代を迎えるに当たり、名称  
も「東海大学生友会新聞」と  
して新たに発行することと致  
しました。今後もできるだけ  
定期的に発行出来るよう努力  
いたしますので会員の皆様の  
ご協力ご支援をよろしくお願  
い申し上げます。

機械系学科創設三十周年と共に「生友会」創設十周年をまもなく迎えます。その記念事業として、長年の懸案でなつた名簿の作成、記念行事・総会、学科との共催による講演会等を予定をしておりま

生産機械工学科内  
東海大学生校友会事務局  
電話 0463(58)1211

▲規約改正に向けて▽  
生友会の規約も会の運営、種々の問題点が発生しておおり、改正の必要が生じております。今後の会の運営をスムーズにするため、事務局として改正（案）を作成して総会お計りしたいと思います。ご協力をお願い申し上げます。  
△新聞へ投稿を▽  
前号でお願いしましたが、会員の皆様のご意見、会員の通信、会員相互の意見交換の意味の表明等の場として、会员のひろばのようなもの考えておりますので、皆様の投稿をお願いします。

も、財政的にも余裕がなく、  
発行が大変おくれたことをお詫び申し上げます。本号より  
昭和から平成へ、また、学科  
も新主任教授の誕生と、新し  
い時代を迎えるに当たり、名称  
も「東海大学生友会新聞」と  
して新たに発行することと致  
しました。今後もできるだけ  
定期的に発行出来るよう努力  
いたしますので会員の皆様の  
ご協力ご支援をよろしくお願  
い申し上げます。